

工業炉製造ノウハウを応用し稲もみ殻処理炉を開発、海外・国内需要を新規開拓

金属溶解炉、金属熱処理炉等、用途に応じた多種多様な工業炉について、設計から据付後のメンテナンスまで、一貫体制で対応。顧客のニーズ(生産ロットや工場規模、設置スペース等)に応じて、柔軟かつ付加価値性の高い設計製造能力が当社の強み。また、ベトナム、メキシコなど海外にも拠点やパートナー会社を持ち、海外展開をする取引先にも対応。自動車部品メーカーを中心に、様々な顧客に設備を導入。また、環境事業を取扱う子会社NSIC株式会社により、もみ殻事業を中心とした設備販売等を行っている。

● 所在地 富山県射水市青井谷1丁目8番3号
● 電話/FAX 0766-57-1400/0766-57-1401
● URL <http://www.h-techno.com/>
● 代表者 代表取締役社長 木倉 正明

● 設立 1993年
● 資本金 3,000万円
● 従業員数 20人



需要獲得

再生利用困難とされてきた稲もみ殻の再生利用処理炉を開発

地元行政、地元JA、早稲田大学等で成形する産学官連携により、利活用が困難な「稲もみ殻」の再生利活用処理炉の開発に成功。本設備は、高度なコントロール燃焼技術を用いた処理で、有害物質を排出せず有益な非晶質・可溶性シリカを含む「もみ殻灰」を製造する。毎年大量発生するもみ殻処理に対して、既存設備では少量処理能力しか有しておらず、低コストで大量処理を実現した本設備は、革新的な性能を有している。



もみ殻処理炉

積極的な海外展開実績、もみ殻事業の海外展開も視野

ベトナムに2か所現地法人を保有。また、メキシコに1社、スペインに1社、中国に1社パートナー会社あり。主に、現地の日系企業向けの受注に対応している。また、今回のもみ殻処理炉については、海外米主食圏での展開も視野に入れており、国内での事業軌道化ののちには、上記の海外展開能力が十分に発揮される見通し。



海外現地法人(ベトナム、タイ、インドネシア)

資源・環境・雇用面での地域経済活性化に寄与

もみ殻処理炉の開発については、地場の農協(JAいみず野)と連携し取り組んだ経緯あり。処理炉第1号機はJAいみず野に納入し平成30年より稼働を開始している。本件事業軌道化ののちには、相応の人員を要することから、地場の雇用創出にも寄与する見込み。地域資源(もみ殻利用)、地域環境(もみ殻単純焼却による毒性物質発生の抑制に寄与)、地域雇用(もみ殻事業に係る雇用創出)と、複数の側面から地域経済の活性化に資する事業。



農協との協力写真

ものづくり